

(13)

(月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円

<第3種郵便物認可>

全国高校総体

「最後の1秒まで戦う」

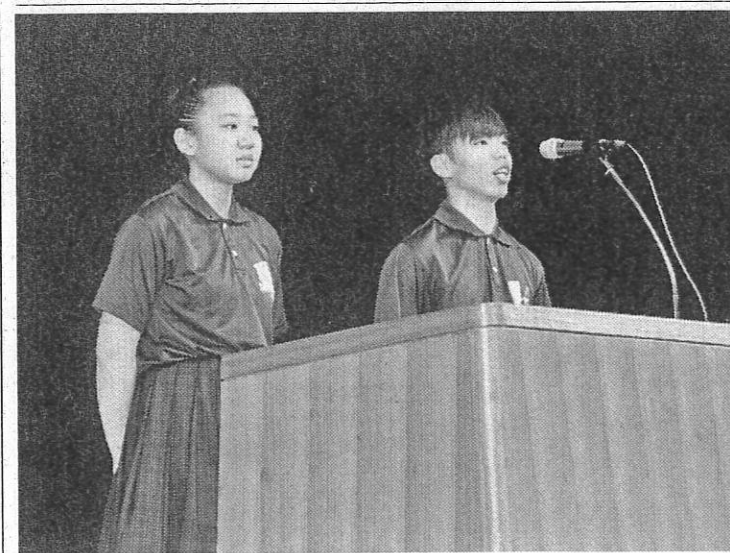
県選手団 活躍誓う

鹿児島県などで24日から開かれる全国高校総合体育大会(インターハイ)に出場する県選手団の結団壮行式が10日、和歌山市の県民文化会館であった。出席した選手らは「最後の1秒まで戦い抜く」と活躍を誓った。

大会は24日から8月20日までの28日間、鹿児島、熊本、宮崎、沖縄の各県(ヨットは和歌山市)である。県選手団は29競技の選手494人と監督、引率教員125人の計619人で、これと別に水泳については、神戸市で22日から開催される近畿大会で出場選手が決定する。結団壮行式は、県高校体育

連盟と県教育委員会が主催。県高体連の雑賀敏浩会長が「県代表の誇りを持ち、正々堂々とプレーすることを期待している。どんな時も大会に関わる全ての人への感謝の気持ちを忘れないで、競技が終わる最後の瞬間まで全力を尽くしてください」とあいさつ。来賓の仁坂吉伸知事は「スポーツはとても楽しい。たくさん立派な思い出をつくるために、しっかり頑張ってきてください」と激励した。バスケットボール女子に出場する上田真由さん(和歌山信愛3年)が雑賀会長から連盟旗を受け取った。最後に選手団を代表し、空手道男子に

出場する太田瑛慎君(熊野3年)と空手道女子に出場する阪本莉寧さん(同)が「これまで支えてくださった方々への感謝を胸に、夢の舞台で最後の1秒まで戦い抜くことを誓う」と宣誓。「チーム和歌山、最後の1秒まで戦い抜くぞ」と呼び掛け、出席者全員が「おう」と拳を突き上げ、士気を高めた。



全国高校総体県選手団の結団壮行式で、選手団を代表して決意の言葉を述べる熊野3年の阪本莉寧さん(左)と太田瑛慎君＝10日、和歌山市で

出工業3年)▽カヌー男子C
12||松本佑哉(神島3年)
・野久保翔万(同)▽少林寺
拳法女子単独演武||小田愛里
(神島2年)▽少林寺拳法女
子組演武||村上冬音(同)・
吉岡彩月(同)▽陸上男子や
り投げ||裨田敦也(田辺3年)
▽陸上男子八種競技||眺眞空
(熊野3年)
団体は、神島の少林寺拳法
女子、田辺工業の体操男子、
熊野の空手道女子、田辺のホ
ッケー男子と登山女子。